

中学校 2, 3 年生 美術 表現「メッセージを伝えるポスター」(教科書 P. 50～P. 53)

年 () 組 氏名 ()

目標：伝える目的や条件を基に相手や内容などから主題を生み出し、表現の構想を練ることができる。

目標：余白や空間の効果、動勢などを捉えることを理解できる。

ステップ 1：学習の進め方を確認しよう

- ・教科書 P. 53 のポスターを見て、ポスターの大切なポイントを発見しよう。(①)
- ・複数の視点から情報を整理し、主題（強く表現したいこと）を生み出そう。(②)
- ・①②より配色や構図、キャッチコピー、3つの要素を大切にポスターの構想を練り、視覚を通して伝えるためには何が大切か考えてみましょう。(③)

ステップ 2：自分でやってみよう

① 「FOOD が HOPE に。」を見て作者の意図や工夫について考えよう。

教科書 P53 をみてね。

【配色】

【形（人やものなど）】



【キャッチコピー】(Food is hope)

【構図】

目的

条件（方法、手段）

※ このポスターの目的、条件、内容とは

説明 ▶ (WFP 国連世界食糧計画の支援キャンペーンより) ラオスの子供たちを取り上げ、食糧支援を呼びかけたポスター。

国連は、飢餓や内戦、経済事情などにより十分な教育を受けられない国の子供たちへ学校給食の支援を行っている。

経済危機や食料価格の上昇で、給食支援の存続が難しくなった現状を訴える目的で作られた。

内容

世界中の人々に（相手）社会への働きかけ（社会との関わり）

② 現在学校は休校措置で、不要不急の外出自粛・手洗い・うがいの励行、咳エチケット、人との距離の他、連日のように新型コロナウイルス感染拡大防止関係のニュースが報道されています。「感染拡大防止の呼びかけ」をテーマにあなたならどのようなポスターを考えますか？ 次の表を通して情報を整理しましょう。



「感染拡大防止の呼びかけ」をテーマに考えられる内容（目的・相手・内容）を書き出し、主題（強く表現したいこと）を生み出そう。

テーマ	目的	相手	内容
感染拡大の防止			

（例）

テーマ	目的	相手	内容
感染拡大の防止 食糧計画の支援	幅広い年齢層に向けて対策に対して 関心を高めてもらう 趣旨を理解し行動してもらう	老若男女全て 現状を知らない人 関心のない人	レジ待ちやバス待ちの人や街で歩くとき人との距離を1 m以上あけることを意識する 子供にもわかるキャッチコピーを通して訴える → 「ぼくは“かんかく”をまもれるよ。」

・キャッチコピーを考えよう。（複数以上考えてよりよいキャッチコピーを選択しよう）

③ ①での気づきを生かし、②の生み出した主題からポスターの構想を練ろう。（色鉛筆使用可）

【配色】

「伝わる」配色となっているか。

見やすさ、読みやすさが意識された配色となっているか。

【形（人やものなど）】

メッセージ性のある工夫されたものであるか。

無駄なものはないか。

【キャッチコピー】

わかりやすく「伝わる」コピーか。

対象となる人たちに向けたコピーとなっているか。

【構図】

「伝わる」ための効果的な構図になっているか。

美しくみえるように、余白を効果的に生かしているか。

間隔を空けてお並び下さい

ステップ3：学びを生かして挑戦してみよう！（チャレンジ学習で使う名刺をデザインしよう）

・「名刺」も「私」を「伝える」ツールの一つです。名刺には氏名の他、所属、所属場所、連絡先などの文字情報が入っています。背景に色や形を使って「My 名刺」をデザインしてみましょう。

実際の名刺サイズです。

91 mm×55 mm

- ※ 所属：所属中学校…京都市立〇〇中学校
- ※ 所属場所：所属中学校の郵便番号と住所
- ※ 連絡先：所属中学校の電話番号と FAX 番号



自己評価をしましょう

この自己評価は皆さん自身が自分の学びを振り返るためのもの、皆さんの理解度や疑問を知るためのもので先生の評価とは関係ありません。

課題①～③ 伝わるポスターについて見る人の視点に立ち、考えることができましたか。

十分に
できた。

まずまず
できた。

自信がないが
なんとかできた。

できなかった

課題④ 「伝わるための大切な要素」について考え、新たな発見を見つけることができましたか。

十分に
できた。

まずまず
できた。

自信がないが
なんとかできた。

できなかった

学習を終えて、わからないこと、疑問に思うことがあれば書き出しておこう。

